

# 保育の一斑

兩園は位置が接近してゐて、土地の状況も餘り變りがないので、數年前より申合せて、左記の如く、一年中の遊ばせ方を豫定し（尙各遊びの詳細なる方法は定めてありますが、餘り繁雜ですから之を略します）世の進歩につれ、多少訂正を加へつゝ、實行して居ますが、大體に於て、幼兒は興味を持って遊んで居る様に思ひます。斯道に従事せらるゝ方々の批評を仰ぎ、一層完全にいたしましたと考へ、本紙の餘白をかることにいたしました。

## 幼稚園遊びの豫定

一	月	題目	方法
一月一日			
一月九日			
二	月	題目	方法
節		降雪の日	
分		豆拾ひ	
歳		拾ひ	
の		數	
取		り	

月	三	月
修了式	陸軍記念日	お正月
修了式	戦捷につぎ	御消息遊
園藝	兵隊遊び	天満宮へお詣り
皇靈祭	祭日につぎ	
お配りこと		
送別會		
種まき		
月	四	月
身體検査	天神皇武祭	梅見
御降誕殿下	遠足自然接	初元節
東宮殿	遠足摘草白	紀元節
念日	然接觸	人形店
園創立記	式後終日遊ぶ	賣買遊
小川幼稚園		園内又は梅
野邊		林へ遊ぶ
花見		
入園式		
入園式		
新舊幼兒の交情		

京都市  
小乾  
川隆  
幼稚園  
幼稚園

月 七						月 五									
天	明	會	終	休	夏	土	祇	水	夏	記	海	野	氏	夏	端
皇			り	暇		園	園	遊	の	念			神	の	午
祭	治	合	の	前	用	祭	祭	遊	蟲	日	軍	遊	祭	花	節
		話	休	茶	雷	蝶	土	お	軍	て	戦	草	り	實	句
		暇	中	話	遊	の	虫	水	艦	捷	捷	木	お	際	大
		の	お	會	見	遊	干	撒	遊	話	話	實	祭	の	將
		お			舞	其	舞	き	づ	み	づ	拾	り	花	人
						他	見		き	ひ	き	ひ	遊	見	形
													詣		飾
月 九						月 六									
園	秋	皇	秋	月	秋	念	園	乾	の	後	夏	地	田	園	梅
藝	の	靈	祭	見	草	日	創	隆	會	始	期	久	植	藝	雨
種	蟲	祭	て	鬼	自	立	立	幼	合	め	休	節	郊	芽	育
蒔	遊	の	話	の	然	記	後	稚	後	て	暇	外	外	菊	け
き	び	こ	と	き	接	ぶ	終	遊	日	お		遠	足	其	蛙
					觸	樂	日	ぶ	樂	土		足		の	の
										産				挿	に
										話					つ

月 二 十						月 十								
終	冬	忘	餅	お	事	入	天	八	誓	山	神	運	收	野
期	期	年	搗	掃	始	營	長	百	文	拂	嘗	動	穫	遊
會	會	會	き	除	め	遊	節	屋	拂	遊	祭	會	遊	遊
合	前	會	際	粘	新	入		遊	賣	探	に	小	農	お
		茶	の	土	年	營	其	買	物	し	遊	學	日	稻
		話	真	付	準	の	他	遊	物	物	ぶ	夫	様	の
		中	似	毒	備	名	稱				と	の	穀	遠
		の	實	に	に						共	苦	脱	自然
		話									心	心	接觸	接
														觸
月 一 十						月 一 十								
の						の								
す						す								
な						な								
外						外								
以						以								
定						定								
豫						豫								
割						割								
月						月								
社	衛	誕	動	栽	遠	新	時	落	菊	新	時	落	菊	
會	生	生	物	培	足	嘗	代	葉	見	嘗	代	葉	見	
の	日	日	飼			祭	祭	集	自	祭	祭	集	自	
出	祝	祝	育			行	行	足	然	行	行	足	然	
來	遊	遊				列	列	遊	接	列	列	遊	接	
事						遊	遊	遊	觸	遊	遊	遊	觸	